



弘前大学

連携自治体：青森県・弘前市

事業名：青森ブランドの価値を創る地域人財の育成

事業の概要・目的

(地域の課題)

連携自治体の課題(平成26年度申請時点)

【青森県基本計画「未来を変える挑戦」】

アグリ(農林水産業)・ライフ(医療・健康・福祉産業)・グリーン(環境・エネルギー産業)ごとに政策・施策を設定し、以下の分野横断的な戦略プロジェクトに取り組む。

1. 人口減少克服プロジェクト

子育て支援、雇用創出・拡大、安全で快適な生活環境、観光・交流人口増

2. 健康長寿県プロジェクト

自然・食環境の活用、生活習慣の改善、適切な治療、スポーツ

3. 食でとことんプロジェクト

県内産品の多角的な価値創出、食の価値を高める、外貨獲得・域内循環

【弘前市アクションプラン2013】

超少子高齢化社会を見据え、以下の最重要課題等を設定した。

- 1. 子育て(人づくり) 2. 健康
- 3. 雪対策(安全安心) 4. 市民参加型社会の実現

(課題解決のための大学の取組)

教育	文理融合・青森に関する学修の充実。教育の質を保证する学生自身のPDCA(Plan/Do/Check/Action)サイクルの確立。
研究	文理を融合した共同研究による「青森ブランド」の価値を創造。
社会貢献	地域課題解決のための多様なプログラムの開発・提供。地域の人々と学生が協働する社会参画の仕組みを構築。

(目指す人材育成のためのカリキュラム改革)

地域志向人財として必要な知識・技能の修得という視点から、教育課程を再編する。

■文理融合型/地域特定課題を解決できる人財育成

- 地域「実践力」を育成する初年次教養教育
 - ✓ 青森を対象とした課題解決型学修「地域学ゼミナール」の必修化(教養教育、2単位)
 - ✓ 青森の歴史・文化・特色を学ぶ科目群「ローカル型課題科目」の必修化(教養教育、2単位)
- 入学から卒業までの「地域を志向したキャリア教育」(教養教育、必修、2単位×2科目)
- 「専門知」と「地域の課題」を交差させる「専門力」の育成
 - ✓ 分野横断的内容(文理両面からアプローチ)/青森に関する内容/能動的学修の3つをコンセプトとした科目群「学部越境型地域志向科目」を新設・必修化(教養教育、2単位)
 - ✓ 地域の特定プロジェクト(青森県の戦略プロジェクト、弘前市の「市民参加型社会」)を実施できる専門人財育成のための教育プログラムの開発、本学独自の称号の付与

(現在の取組)

- 事例1「課題解決型学修における取組」

青森の地域課題をテーマとした課題解決型学修を全学体制で実施するため、教員向け手引き書を作成し、平成27年度から試行を開始する。さらに、地域の有識者の積極的活用のため、ゲストスピーカーの人材バンクの整備、反転授業のコンテンツ開発等を行った。また、教養教育の授業の約50%に能動的学修を導入することを目指し、能動的学修の専用教室も新たに設けるなど、教育環境を整備した。
- 事例2「学部横断的教育プログラム開発」

4学部(人文、農学生命、教育、医学)の教員が協力し、文理に渡る授業の開発に取り組んでいる。4プログラムの開発を目指し、現在、青森県の地域ブランド作物を取り上げ、作物栽培者を焦点とした社会関係の実態調査、青森の果樹栽培の優位性等の実態調査を行い、議論する授業などを実践している。

(卒業後の学生のイメージ)

- 食・農を中心に、ニュー・ビジネス開発ができる「起業家(アントレプレナー)」
- 観光活性化による交流人口増加や農漁村の地域経営の確立において中核となる人財
- 予防医療や高齢者の生きがいを生み出すまちづくりを牽引する人財



学年	1年(前期)	1年(後期)	2年	3年	4年
地域に関する科目	選択必修 ローカル型課題科目群	必修 地域学ゼミナール	選択必修 学部越境型地域志向科目群		
キャリア教育		必修 キャリア形成の基礎	選択必修 キャリア形成の発展科目群		
地域特定プロジェクト					地域特定プロジェクト志向専門人財育成のための教育プログラム

(地域志向カリキュラムの特徴)

■卒業までに少なくとも5科目以上地域志向科目を履修

1年次の「ローカル型課題科目群」、「地域学ゼミナール」、「キャリア形成の基礎」、2年次以上の「学部越境型地域志向科目群」「キャリア形成の発展科目群」を必修化

■教育の質の保証

ルーブリック(評価基準)とe-ポートフォリオ(学修のふりかえり)を活用した学生自身のPDCAサイクルの確立

人材育成の取組

(人材育成像)

- グローバルマインドを持ち、地域に対する愛着、地域の創造を目指す意欲を持った人財
- 複雑化する地域課題に文理の枠を越えて総合的にアプローチできる文理融合型の人財
- 獲得した専門知を活用して地域の課題解決を主導できる人財

課題に対する大学の取組	26年度(申請時)	27年度(予定)	30年度(目標値)
地域志向科目数	91科目	120科目	200科目
地域志向科目履修者数	3,856人	4,500人	15,000人
地域課題をテーマとした卒業論文数	66編	75編	120編
県内就職希望率	36.8%	40%	50%

青森県の未来を変えるチャレンジ



青森県
企画政策部企画調整課長
秋田 佳紀

青森県では、「強みをとことん、課題をチャンスに」をコンセプトとした基本計画「未来を変える挑戦」が平成26年度からスタートし、「世界が認める『青森ブランド』の確立」をめざした取組を展開しているところで。このような中、弘前大学が「青森ブランドの価値を創る地域人財の育成」を掲げたCOC事業を提案し採択されたことに、深く敬意を表します。課題をチャンスと捉え、青森県の未来をめざす姿に変えるためのチャレンジと一緒に進めることができ、大変心強く思います。

フィールドワークから考える青森の未来



弘前大学
人文学部現代社会課程 3年次
小寺 将太

私が所属する人文学部には、青森県の地域を深く調べる社会調査実習という授業があります。今年は、一次産業の持続可能性を、労働形態・ローカルティ・生産ネットワークの観点から調べています。私はフィールドワークの魅力に惹かれ、課外でも多くの場所へ足を運ぶようになりました。これからは、生の声をもとに青森の現状を深く考え、課題解決できる能力を身につけていきたいと思っています。